

地域における高齢者支援について～白山台地区～

1 「ワークショップ」の開催

令和2年10月24日、31日の2日間にわたり白山台公民館大ホールにおいて、町内会、民生委員、地区社協、老人クラブなどが集まり、「地域における高齢者支援を考えるワークショップ」を開催し、町内別にグループに分かれ、高齢者支援の現状と課題、その解決策について検討しました。



地域住民によるグループワーク

2 「集いの場」の開催

令和2年12月5日、白山台公民館大ホールにおいて、高齢者が地域の中で気軽に集うことができる居場所があり、その中で、閉じこもり防止、仲間づくり、役割づくり、生きがいづくり、見守り、介護予防等を行うことを目的とした白山台地区「高齢者集いの場」を開催しました。

(タイムテーブル)

時間	内容
10:00	開会
10:05	アイスブレイク(グループ内の緊張を和ませる雰囲気づくり) ○自己紹介(氏名・趣味・若いころ夢中になったことを紹介) ○グループ対抗ミニゲーム
10:15	介護予防 ○ラジオ体操 ○ストレッチ ○筋トレ
10:45	認知症予防 ○テーマを設定して昔のことを思い出しながらグループ内で語り合う
11:00	レクリエーション(ニュースポーツ) ○スカットボール ○輪投げ
11:30	参加者からの感想やまとめ ○集いの場で、今後やってみたい内容等 ○今後の継続した「高齢者集いの場」について
12:00	閉会



小学校の頃の思い出話



グループ対抗レクリエーション



体操でリフレッシュ

3 白山台地区の社会福祉法人による高齢者支援

ワークショップの中であがった「ゴミ出し、庭の草刈・枝切作業、弁当やパンの宅配サービス」といった地域の高齢者の困りごとに対して、社会福祉法人から支援できるとの意見があり、社会福祉法人による高齢者に対するサービス提供体制の構築につながりました。

